

第46回「てのひら文庫賞」岐阜県読書感想文コンクール 最優秀賞・岐阜県教育委員会賞 作品

最優秀賞・
岐阜県教育委員会賞

2年自由図書部門／読んだ本・ことばのかたち

カラフルにいこう

岐阜市立華陽小学校 天野希香

わたしは学校でともだちとけんかをしたとき、うまくことばで気もちをつたえられず、だまってしまったことがあります。もしそのとき、ことばに色や形があれば、あいにわたしの気もちが伝わっていたかなと思います。この本のように、わたしの学校ではことばには「ちくちくことば」や「やみことば」があるとなりました。とげのあることばは人をきずつけるので、つかわないように気をつけています。

本を読みすすめるうちに、わたしの考えがすこしかわりました。ことばは、話す人の気もちだけでなく、それをうけとる人の気もちが大切だと気づいたからです。自分の気もちをつたえるためには、あい手の気もちやはんの

うをそうぞうしてつかうことが大切だとかんじました。目に見えたらいいのに、ではなく、見えないからあい手のことを考えることがやさしさだとわかりました。

読んでもわからないところもありました。「だれかをまもるためのうそ」が「しずかでやわらかな毛ふになり」というところです。どういう「うそ」ならついていいかな、「うそ」なのに、人をあたためられるのかな？とふしぎです。いつかわかりたいなと思います

わたしのことばは、いつも元気で、あかるい黄色に近いと思います。でも、わたしにはまだ知らないことばがたくさんあります。これからことばをたくさんべんきょうして、みんながこまってい

たら、自分のことばでささえてあげたいです。わたしの話すことばが、これからどんな色や形にかわっていくのか、とてもたのしみです。また、わたしにはともだちがたくさんいます。大すきなともだちのつかうことばは、さくらの花みたいですよ。ピンクやオレンジ色のことばをたくさんもらえます。ともだちからいっぱい話を聞いて、カラフルにたのしくすごしていきたいです。